

日中共同研究・京都と中国の庭園サウンドスケープの比較

Collaborative Workshop of China and Japan: Comparison of Soundscape between the Gardens in Kyoto and China.

■ 開催趣旨

日中の庭園および都市のサウンドスケープ研究を核として、サウンドスケープに関わる諸分野、庭園・ランドスケープ・土木・建築・環境・音楽学・音響学に関する専門家が交流し、両国の音環境・サウンドスケープの特質の相互理解を深めます。庭園に関するサウンドスケープ研究は世界でも数少ない事例であり、両国の庭園において、音がどのように認識され、また取り扱われ、デザインされているのかを知ることは、五感の環境デザインを取り扱っていく際の一つの指標として重要な意味を持っています。このような日中が協力して実施する庭園サウンドスケープ研究は、世界でも、初めての試みとして注目されています。今回のワークショップが、両国の専門家・研究者の交流を促進し、庭園のサウンドスケープに関する日中比較研究という画期的な研究を推進するものと考えます。

■ 9月7日(水) 研究発表会 (一般公開・申込不要)

中日における古典庭園のサウンドスケープに関する思想の源流と技術の変遷についての比較研究プロジェクト/
サウンドスケープ協会例会

● 会場：京都造形芸術大学 地下1F 映像ホール

● 参加資料代：一般 2000円 一般学生 1000円 (日本サウンドスケープ協会員・造形大学生 無料)

● 研究発表プログラム

9:30～ 9:40 「日中共同サウンドスケープWS開催に当たって」 平松幸三 (京都大学)

9:40～10:10 「日本庭園の特質と五感のデザイン」 尼崎博正 (京都造形芸術大学)

10:10～10:50 「中国古庭園における時間のデザイン」 吴硕贤 / Wu Shuo-xian (華南理工大学)

<休憩>

11:00～12:00 「サウンドスケープ、中国古庭園における理論と実践」 袁晓梅 / Yuan Xiao-mei (華南理工大学)

<昼食>

13:00～13:30 「詩仙堂のししおどしと“静けさのデザイン”」 鳥越けい子 (青山学院大学)

13:30～14:00 「桂離宮および対龍山荘庭園の音環境」 曾和 治好 (京都造形芸術大学)

<休憩>

14:10～14:40 「大名庭園の音風景 一兼六園と成巽閣ー」 土田義郎 (金沢工業大学)

14:40～15:10 「前田治脩による兼六園翠滝の作庭指示」 栗山伴芳 (京都造形芸術大学)

<休憩>

15:20～16:20 「ディスカッション」 進行:平松幸三 パネラー:袁晓梅・鳥越けい子・土田義郎・曾和治好

16:20～16:30 「今後に向けて」 吴硕贤 / Wu Shuo-xian (華南理工大学)

16:45～17:45 ミニ・パーティー (京都造形芸術大学 至誠館3F 学生食堂 / 参加費500円)

● 主催 日本サウンドスケープ協会

華南理工大学亜熱帯建築科学国家重点研究室

京都造形芸術大学 日本庭園・歴史遺産研究センター

● 後援 (社)日本造園学会 関西支部

(社)ランドスケープコンサルタンツ協会 関西支部

京都府造園協同組合

● 研究助成 中国国家自然科学研究助成金 (プロジェクト番号:50878085,51178188)

中国国家所属高等学校基本科学研究業務用助成金 (プロジェクト番号:2011220015)

● 協賛 池内善兵衛園 植弥加藤造園(株) (株)西川造園 花豊造園(株)

● 協力 詩仙堂・嵐山虚空蔵法輪寺・京人形田中彌

● 問合せ 京都造形芸術大学 曾和研究室

電子メール:sowastudio@gmail.com ファクス:075-200-3728

お問い合わせは メールもしくはファクスのみ受け付けています。

■ 参加研究者



鳥越けい子・TORIGOE Keiko



袁晓梅・YUAN Xiao-mei



吴硕贤・WU Shuo-xian



平松幸三・HIRAMATSU Kozo



土田義郎・TSUCHIDA Yoshio



曾和治好・SOWA Haruyoshi

今回訪日予定の研究者は「中日における古典庭園のサウンドスケープに関する思想の源流と技術の変遷についての比較研究」というプロジェクトの創始者です。その中で、吴硕贤教授は、中国で院士の称号を有する数少ない学者で、当該分野において全国的に著名な学者です。袁晓梅教授は、中国において初めて庭園のサウンドスケープ研究を行った新進気鋭の学者で、中国においてサウンドスケープ研究を本格的に行なっている数少ない研究者です。お二人は、2002年から中国において古典庭園のサウンドスケープ研究を着手し、中国における伝統造園システムにおいてサウンドスケープ研究の枠組みを初めて打ち立てました。この研究を中心とした論文シリーズも、中国国内および国際雑誌に掲載され、大きな注目を浴びています。またこれらの研究成果を『中国における古典庭園のサウンドスケープ』と題し出版を予定しています。2009年には、平松教授をはじめとする日本側の専門家と連携し、中日における古典庭園のサウンドスケープに関する思想の源流と技術の変遷についての比較研究」という合同研究プロジェクトを継続実施しています。このプロジェクトは中国国家自然科学研究助成金(プロジェクト番号:50878085,51178188)と中国国家所属高等学校基本科学研究業務助成金(プロジェクト番号:2011220015)により研究補助されています。

今回の共同ワークショップは、この合同研究プロジェクトにおける最初のワークショップであり、これまで平松幸三教授、鳥越けい子教授が訪中し、意見交換するとともに、平松教授は華南理工大学で短期集中講義を行うなど、相互の意思疎通を図ってきたところでもあります。日本側の参加者のうち、平松幸三教授は、音環境学の観点からサウンドスケープ研究を行い、フィールド調査を実施してきました。鳥越けい子教授は日本にサウンドスケープ概念を本確定に紹介した学者で、サウンドスケープ研究者として世界的に活動を展開しています。土田義郎教授は、建築・都市計画の観点から庭園のサウンドスケープ研究を行ってきました。尼崎博正教授は小川治兵衛(植治)研究の第一人者であり、文化財庭園の分野で活躍しています。曾和治好教授は、桂離宮の音環境研究をはじめとし、造園学の領域でサウンドスケープ研究を手がけた数少ない研究者で、ランドスケープとサウンドスケープをつなぐ活動で実績を上げています。

●中国(華南理工大学建築系学部から6名) Prof. YUAN Xiao-mei・袁晓梅, Prof. WU Shuo-xian・吴硕贤, Prof. XIE Chun・谢纯, Dr. XU Zi-li・许自力, Dr. WANG Shuo・王朔, Dr. WU Yan・吴燕

●日本(7名) Prof. HIRAMATSU Kozo・平松幸三(京都大学), Prof. TORIGOE Keiko・鳥越けい子(青山学院大学), Prof. TSUCHIDA Yoshio・土田義郎(金沢工業大学), Prof. AMASAKI Hiromasa・尼崎博正・Prof. SOWA Haruyoshi・曾和治好・KURIYAMA Tomoyoshi・栗山伴芳(京都造形芸術大学), LI Wei・李偉(国際日本文化研究センター/日本学術振興会外国人特別研究員)

9月8日および9月9日は一般非公開・ワークショップ参加研究者のみのプログラムとなります。

■ 9月8日(木) 庭園のサウンドスケープワークショップ(一般非公開)

水琴窟と回遊庭園	妙心寺 退蔵院庭園	
京のランドスケープと嵐山のサウンドスケープ	法輪寺舞台～渡月橋	解説: 藤本高全氏(法輪寺住職)
鼓の滝と松琴亭(しょうきんてい)	桂離宮庭園	解説: 寺内俊之氏(宮内庁京都事務所)
明治の水景とサウンドスケープ	無鄰菴庭園	
枯山水庭園	南禅寺庭園	解説: 加藤友規氏(京都造形芸術大学)
坪庭と五感	田中彌(人形店) 坪庭	解説: 鈴木隆弥氏(デザイナー)

■ 9月9日(金) 庭園のサウンドスケープワークショップ(一般非公開)

ししおどしのサウンドスケープ	詩仙堂庭園	解説: 石川裕之氏(詩仙堂副住職)
水琴窟	円光寺庭園	
比叡山借景とサウンドスケープ	円通寺庭園	
今後に向けての討論会	京都造形芸術大学	

● 日本サウンドスケープ協会

〒150-8366 東京都渋谷区渋谷4-4-25 青山学院大学総合文化政策学部 鳥越研究室(担当: 松田)
TEL: 03-3409-6346 FAX: 03-3409-6346 E-mail: office@saj.gr.jp http://www.saj.gr.jp/

● 京都造形芸術大学

〒606-8271 京都府京都市左京区北白川瓜生山2-1-16 TEL: 075-791-9121 FAX: 075-791-9127
http://www.kyoto-art.ac.jp アクセス: http://www.kyoto-art.ac.jp/info/about/access.html

● 問い合わせ

京都造形芸術大学 曾和研究室 FAX: 075-200-3728 E-mail: sowastudio@gmail.com
http://land-lab.jimdo.com 問い合わせは電子メールもしくはFAXでお願いいたします。